

## Gard Alert

### リビア - 乗組員が逮捕されるリスク

---



こちらは、英文記事「[Libya - risk of crew being arrested](#)」(2018年5月8日付)の和訳です。

**リビア西部沿岸沖で石油密輸が横行しており、そのことが同海域を航行する船舶のリスク要因となっています。タンカー運航者は、乗組員にこうした状況について注意喚起するとともに、同海域の航行に携わる前にリスク評価を行うようにしてください。**

Gard のリビアにおけるコレスポンデントによると、ここ数年間で石油密輸の容疑で 300 人近くの乗組員が逮捕され、トリポリの刑務所に拘留されるという事態が生じています。カダフィ政権の崩壊に続く国連に認められた政府の樹立後、政府の石油資産を闇市場で違法取引する事例が増加しています。同国政府は違法取引を取り締まっており、違法取引に関与した船舶は、違法取引であることを知っていたか否かにかかわらず、乗組員が逮捕されるおそれがあります。

同コレスポンデントによると、リビア西部の特定の積み卸し場所に寄港したとみなされたタンカーは、リビア海軍による乗船検査を受け、更なる取り調べのために船舶と乗組員が共に拘束される可能性があります。そうしたリスクのある積み卸し場所のほとんどは、ザーウィヤとチュニジアの国境の沿岸沖に位置しています。

いったん本船が拘束されると、調査は数年に及ぶこともあります。コレスポンデントによると、石油密輸の容疑で逮捕された乗組員の中には、既に 2 年以上も刑務所に拘留されたまま釈放される見込みが立っていないケースもあるとのこと。また、乗組員が警察に身柄を拘束されている間は、船舶は港湾からの支援もほとんど受けられず、放置されたままになります。

## 推奨事項

メンバーの皆様には、リビアの港に寄港する際や同国の海域に入る際は、引き続き注意を怠らないように注意喚起し、リビアの港に向かう際には公式航路を航行するよう船舶に指示してください。Gard のコレスポンデントからは、同地域に向けて航行するタンカーに対して以下の推奨事項が出されています。

- 本船をリビア向けの航海に用船に出す場合は、荷送人が確かに国営石油会社(National Oil Company [NOC])または NOC の認定法人であることを示す原産地証明書を用船者から取得してください。リビアの NOC は、同国からの石油輸出に関する独占的権利と管理権限を一元的に保有しています。石油密輸に関連して拘束されたほとんどの事例は、港湾内ではなく、沖合で発生しています。
- 用船者は、貨物の内容が合法的なものであることを確認し、石油貨物をリビアから合法的に輸送できるかどうかを確認してください。荷送人は、貨物の輸送許可を NOC から取得していることを証するレターや書類を提供できるはずですが、必要な場合は、Gard のコレスポンデントがそうした書類の正当性を確認し、一般的なガイダンスを提供いたします。
- 燃料油をリビアに輸送するタンカーは、貨物荷役が完了し出港許可が得られ次第、航路の変更や遅延が生じないように直ちにリビア海域から出航してください。航路の変更や遅延があると、当局から疑われる可能性があります。
- リビアの沿岸部をいったん離れたら、沿岸近くを航行するのは避けてください。Gard のコレスポンデントは、安全のため沿岸から 40 海里の距離を保つことを推奨しています。拘束されたケースのほとんどは、リビア沿岸から 25 海里以内の場所で発生しています。

リビア各港の情報や実務上の助言については、Gard のウェブサイト「[リビアー港湾状況に関する最新情報](#)」をご参照ください。航海に伴うリスク評価に関する情報などは、Gard のウェブサイト「[Piracy - Robbery or Illegal Violence at Sea](#)」(英文)をご覧ください。

この件に関して実際に何らかの体験をなされたメンバーの方は、[lp@gard.no](mailto:lp@gard.no) もしくはガードジャパン ([gardjapan@gard.no](mailto:gardjapan@gard.no)) までメールで情報をお寄せください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。